

令和5年度 第2回 横浜市介護保険運営協議会 議事要旨	
日 時	令和5年8月24日（木曜日） 14:00～15:20
場 所	横浜市役所 18階みなと123会議室
出 席 者	山崎委員（会長）、小田委員、加賀谷委員、小林（裕）委員、白藤委員、高崎委員、柳田委員、山根委員、吉野委員、谷村委員、中村委員、石内委員、小倉委員、黒川委員、小林（久）委員、佐藤委員、杉浦委員、肥後委員、堀元委員 計19名
欠 席 者	若栗委員 計1名
開 催 形 態	公開（傍聴者2名・報道関係者0名）
議 題	1 議題 （1）「第9期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」の方向性について
議 事	1 議題 （1）「第9期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」の方向性について （事務局）「資料1「第9期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」の方向性について」を説明。  （山崎会長）主な取組の①高齢期の暮らしに向けた市民意識の醸成について、どのような取組が必要か。 （小田委員）応援サイトの活用等の取組があるが、情報取得に貪欲な高齢者がいる反面、関心がない高齢者へ情報が届いていないため、対応を議論する必要がある。 （白藤委員）「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」は、認知度向上のためにサイトを開いたときに、何のためのサイトなのか分かりやすい説明があると良い。また、地域ケアプラザや社協の情報は入っているが、地区センター、男女共同参画センターなどの活動まで情報検索を広げていることを考えているか。 （事務局）「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」の情報は、地域ケアプラザの生活支援コーディネーターが把握し、同意が得られた情報を公開している。生活支援コーディネーターの活動の課題として、地区センターや男女共同参画センターまで情報収集を広げられていないことがある。今後、多様な地域活動の情報収集を行えるよう、生活支援コーディネーターに促したい。  （山崎会長）主な方向性の②生きがいや役割を持ち、生き活きと暮らせる地域づくりについて、意見はあるか。

(堀元委員) データを活用した重症化リスクが高い高齢者の抽出について、活用するデータや評価方法を確認したい。またフレイル対策について、どのような検討をしているのか。

(事務局) データ活用については、主に後期高齢者の健康診査の結果を想定している。問診の内容が後期高齢者はフレイル予防を意識した内容に変更されたため、対象者の抽出に活用する。フレイル予防対策については、対象者の抽出に加え、通いの場やイベントなどで、運動・栄養・オーラルフレイル予防・社会参加等の必要性を普及していきたい。

(肥後委員) 薬局でも健康指導を行う方法を検討しているので、フレイル予防に寄与するのでは。

(山崎会長) 気楽に立ち寄れる場になると良い。

(石内委員) 新規事業が多いが、国からの補助金で充当しているのか。

(事務局) データに基づく、高齢者ごとの健康課題に着目した支援については、後期高齢者医療の保健事業の充実に向けた仕組みの中で、国の補助金を活用する予定。

(小田委員) 介護予防の推進について、個別指導があるが、行政や地域ケアプラザにPT(理学療法士)はいないが、個別指導はどのような手法を予定しているか。

(事務局) 現在、横浜市でリハビリ専門職を個別支援に活用する事業はないため、後期高齢者医療の保健事業の予算を活用して新規に取り組むことを予定している。具体的な方法や依頼先は検討中。

(黒川委員) 地域介護予防活動の推進について、良い事業だが、実施に向けては難しい面も多いと思う。地域ケアプラザや社会福祉協議会、民生委員と協力して実施することが必要。

(山崎会長) 主な方向性の③ニーズに応じた介護サービスの充実と施設・住まいの整備について、意見はあるか。

(小倉委員) 暫定のデータだが、特養待機者は数年前に比べて半数以下に減少している。第9期は整備量だけでなく、提供する介護サービスの質の向上に力点を置く必要性を感じている。特養では空床がある割合が大きくなってきており、需要と供給のバランスを見直す段階にきているとも考えられる。現時点では申請から最短で2カ月で入所できる状況になっており、入退所指針についても見直しを行っているため、このタイミングで整備量を見直す必要がある。

(山崎会長) 地域による充足度の違いはあるか。

(小倉委員) これまで「市内」での施設確保を目標としており、土地などの条件からも建てられる地域に差はあるため、偏りはあるが、市全体としての施設数は十分な量になってきたと考える。

(山崎会長) 主な方向性の④介護人材確保について、意見はあるか。

(柳田委員) ここ数年、本当に人材不足。ケアマネジャーの確保について、給与への反映が少ないことや、資格取得の難易度が高いため、人材が不足している。以前と違い、人材紹介会社を使っても、人が集まらない。地域ケアプラザでの相談は増えているが、対応が追いつかない状況で、特に予防分は委託ができない状態。

(杉浦委員) 介護と同様に看護も人材確保が課題となっており、特に事業所側の求人情報と、求職者の働き方のニーズが合わないことが多い。また、給与面での課題も大きく、小規模事業所は人が集まらず、給与を上げられない悪循環が起きている。さらにタスクシェアの記載があるが、介護助手、看護助手も人材が不足しており、資格は必要ないが育成が課題になってくる。

(小林久美子委員) 介護も看護も人材不足。また、働き方改革の影響で、介護看護の365日・24時間対応の仕事が、若い方の働き方と合っていない。在宅の要介護者が今後増えるため、給与面だけではなく、休日の確保等の労働環境についても適切に示していく事が必要。また、ICTの活用については、開発に時間がかかる一方で、その段階の補助がないので検討してほしい。

(山崎会長) 主な方向性の⑤認知症施策の一層の推進について意見はあるか。

(小林裕子委員) 認知症を我がことと捉えることは認知症施策の基本になるため、ぜひ注力してほしい。昨年も認知症月間に市庁舎をオレンジ色にライトアップしたように、目で見て認知症の印象を付けることで、認知症への意識を高めることができる。スローショッピングなど、非常に面白い取組で、認知症の人だけでなく高齢者全般について、地域で交流する機会が増えることも重要である。認知症カフェなどで、認知症の人の家族が悩みや近況を話せるピアミーティングをやってほしい。

(山崎会長) その他、全体を通しての意見はあるか。

(中村委員) 特養等での看取りの必要性は高まっているが、どのように考えているか。従来型とユニット型の割合について、もう少し可視化できるとよい。ケアマネジャーはじめ、人材不足については課題が大きく、特に資格が厳密化され受験者が大きく減っているのが影響しているのではないか。質を確保することと人材の確保のバランスが崩れているため、周知等では不十分で、全国的な取組が必要だろう。人材確保について、人材紹介会社が活用できる背景として、一つの施設・事業所に拘束されることを嫌う求職者のニーズがあるのではないかと推測する。その場合、各施設・事業所での求人努力だけではなく、広域での採用など、これまでとは異なる検討が必要ではないか。

(高崎委員) 介護保険料は高い。遺族年金受給者は国民年金受給者に比べて介護保険料を低く設定されていることに疑問を感じている。また、素案にカタカナが多く、もう少し高齢者にやさしい表現にしたい。

	<p>(加賀谷委員) 若い人は働きやすい仕事につきやすく、介護の仕事は、給与面でも他の職種に比べて低いことが影響し、人手不足が進んでいるのだろう。ICT の活用等で、少ない労力で大きな効果が得られる環境づくりを自治体として取り組んでほしい。</p> <p>(吉野委員) 生き活きと暮らせる地域づくりとあるが、地域によっては高齢者の交流の場がない。かといって老人会には入らないので、地域の中に会話しながらお茶ができるような居場所があれば、自然と地域の仲間づくりができるのではないかと思う。現状では様々な活動の参加者が限定的になっているため、より多くの人に参加して地域での仲間づくりを進めていってほしい。</p> <p>(谷村委員) 情報提供について、行政からは難しいかもしれないが、youtube の広告のように強制的に流したり、見た人にメリットやインセンティブ等が発生するなど、より多くの人が見やすいしかけが必要だろう。また、かかりつけ医に診てもらっている人は行政の健康診断に参加しない場合があるため、どれくらいデータを収集できるかが課題と感じた。電球の取替やクーラーの掃除など、制度上は介護サービスでできないことについて対応策はないのか。ICT 等に傾倒するだけでなく、電気が使えなくなる場合なども考慮する必要がある。</p> <p>(山根委員) 介護現場でも看護現場でも人手不足によって、現在の現場の人が学ぶことや教えることもできない状況になることを危惧している。</p> <p>(佐藤委員) 県内の地域包括支援センターでも欠員や若手職員の休職が、他の職員や管理者へのしわ寄せになっていることが共通の課題となっている。ケアマネが不足し、疲弊している影響もあるかと思うが、家族からケアマネの交代に関する要望が過去に比べて多くなってきている。利用者や家族に対してケアマネの業務範囲や内容を伝えることも必要である。また、高齢者への情報発信だけでなく、高齢期になる前の若い世代への正しい情報の発信も検討して欲しい。</p>
<p>資 料</p>	<p>資料 1 「第 9 期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」の方向性について</p> <p>資料 2 横浜市の介護保険の実施状況</p> <p>参考資料 「第 9 期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」素案 (案)</p>
<p>特 記 事 項</p>	<p>資料 2 については資料配布のみ。</p> <p>今回は、10 月頃の開催予定。</p> <p>開催日程・場所等詳細は、後日お知らせ。</p>